

平成29年度
文化芸術関連事業
企画書(案)

目次

- 1P 企画展
- 2P 文化芸術交流事業
- 3P 公共施設美術品展示
- 4P 芸術祭
- 5P 文化祭
- 6P 童謡まつり
- 7P サロンコンサート
- 8P ランチタイムコンサート
- 9P こども美術展
- 10P アート・バス
- 11P レッツトライ！プロジェクト
- 12P 文化芸術振興計画管理事務
- 13P 自然史・歴史講座
- 14P 市民音楽祭(NPO法人古賀市文化協会)
- 15P 公募型補助金:絵画で古賀市を元気にするプロジェクト事業(アートフレンズ25)

平成29年度企画書(企画展)

款	10教育費	項	6項社会教育費	目	5目文化財保護費
大事業	14歴史文化普及事業費	中事業	02歴史資料企画展示事業	小事業	
目的	市民が歴史、民俗、博物、考古等について学ぶ機会を提供する。				
対象	市民	日時 (予定)	平成29年11月1日(水)～12月3日(日) 【歴史資料館の休館日を除く】		
内容	内 容 等 (予 定)				
	<p>【展 示】 『漂着物展 ～海辺のおくりもの PARTⅡ～』 平成11年度に開催した企画展「海辺のおくりもの」の第2弾として、故石井忠元館長所蔵の漂着物及び関連品等の展示・解説を行なう。</p>				
展望	<p>郷土古賀の歴史や民俗文化等について、テーマと期間を設けて特別に企画する展覧会。毎年1～2回開催する。 基本とする実施分野は、郷土の歴史・民俗文化・人物(郷土の先達)・考古学・博物等。</p>				
備 考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期					

平成29年度企画書(文化芸術交流事業事務)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	13美術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。 ・近隣市町村と共働で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。 ・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。 				
対象	市民	日時 (予定)	下記のとおり		
内容	実施日	内容		会場	
	未定	文化講演会		須恵町	
	11月下旬	福岡 I ブロック 「芸術文化のつどい」		古賀市 中央公民館 大ホール	
	11月初旬	糟屋地区美術展		篠栗町 クリエイト篠栗	
	<p>【文化講演会】 糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の希望市町で開催される講演会。平成27年度より開始。</p> <p>【福岡 I ブロック芸文のつどい】 糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。毎年古賀市から3団体(10人～20人)が出演する。</p> <p>【糟屋地区美術展】 糟屋郡の1市7町の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。毎年古賀市から30点～40点の出品をしている。市民から広報を通して作品公募し、出品する。</p> <p>文化協会へ事務委託。</p>				
展望	<p>近隣市町の文化芸術についての情報の収集、そして意見交換の出来る貴重な機会であり、古賀市が誇れる宝を市外に発信する機会でもあるとともに、古賀市の文化度を測る基準にもなり、近隣との広域的なネットワークづくりにもなる。</p> <p>しかし、市民への知名度は低く、市民公募をするうえでさらなる浸透が必要である。</p> <p>ポスター・チラシ等での周知やHPを使った周知を積極的に行い、さらなる市民の文化芸術の意識の向上を行っていきたい。</p>				
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期					

平成29年度企画書(公共施設美術品展示)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	13美術振興事業費	中事業	1美術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。 ・文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。 				
対象	市民	日時 (予定)	年間とおして1ヵ月ごとに絵を交換		
内容	実施日	展示予定作品			
	4月～4月末	糟屋美術展入賞作品 MOA美術展大賞作品 古賀竟成館高等学校デザイン部作品			
	5月～5月末				
	6月～6月末				
	7月～7月末				
	8月～8月末				
	9月～9月末				
	10月～10月末				
	11月～11月末				
	12月～12月下旬				
	1月上旬～1月末				
	2月～2月末				
	3月～3月末				
	糟屋地区美術展、MOA美術館古賀市児童作品展、古賀市こども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。 1ヶ月ごとに作品を入れ替え、合計12回の絵画の交換を行っている。				
展望	鑑賞してもらおう喜びや、鑑賞する楽しみを感じてもらい、作品出展や創作への意欲を高め、更なる文化芸術活動の促進につなげる。				
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期					

平成29年度企画書(芸術祭)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<p>・古賀市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。</p> <p>・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。</p>				
対象	市民		日時 (予定)	5月中旬	
内容	実施日	内容	スケジュール		
	5月中旬	舞台芸能	個別リハーサル(2日)		
			舞台仕込み(1日)		
			本番 舞台発表(中央公民館 大ホール)(1日)		
		作品展示	作品搬入(1日)		
			本番 作品展示(6日) (中央公民館 エントランスロビー) (歴史資料館 サンフレアギャラリー)		
			作品搬出(1日)		
<p>指導者・師匠クラスのグレードの高い展示を6日間、舞台演技を1日間、無料で鑑賞できるとともに、郷土芸能や昔から引き継がれてきた文化に触れることが出来る。</p> <p>舞台芸能では、特別ゲストおよび市民ゲストの演技披露がある。</p> <p>文化協会への委託事業。</p>					
展望	<p>本事業を通して、芸能、芸術に興味関心を持ち、自らも文化芸術活動をする市民の増加を目指す。</p> <p>また、本事業が若い世代との交流の場となり、次世代への引継ぎにつながることを目指す。</p> <p>そのためには、年々減少する出展者の増加が課題である。</p> <p>優れた古賀市の企業や個人を紹介するコーナーを設けるなど、委託先である文化協会も新しい取り組みを行っており、古賀市の既存の宝を積極的に市内外にPRしていく。</p>				
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期					

平成29年度企画書(文化祭)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<p>・古賀市で文化芸術活動を行う個人や団体を積極的に活用し、古賀市に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表、鑑賞、体験する機会を提供する。</p> <p>・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。</p>				
対象	市民	日時 (予定)	11月中旬～下旬		
内容	実施日	内容	スケジュール		
	11月中旬～下旬	舞台芸能	リハーサル(1日)		
			仕込み、舞台準備(1日)		
			本番 舞台発表(3日) (中央公民館 大ホール)		
		作品展示	搬入(1日)		
			本番 作品展示(6日間) (歴史資料館 サンプレアギャラリー)		
			搬出(1日)		
<p>古賀市で活動する市民の展示を6日間、舞台演技を3日間無料で鑑賞できるとともに、郷土芸能や昔から引き継がれてきた文化に触れることができる古賀市最大の文化の祭典。 文化協会への委託事業。</p>					
展望	<p>市民が参加しやすい、興味を引きやすい企画を考えていく。 市最大の文化の祭典なので、市全体で盛り上がるように特色あるイベントにしていきたい。 また、多くの市民が参加・鑑賞・体験することで、より身近に文化芸術を感じてもらい、市民全体に文化芸術振興の意識付けを拡げていく。</p>				
備考					
<p>古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期</p>					

平成29年度企画書(サロンコンサート)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を身近に感じてもらい、興味関心を高める。 ・生の演奏を気軽に、定期的に発表・鑑賞ことができる機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。 				
対象	市民	日時 (予定)	約月1回 13時30分～15時00分		
内容	実施日	会場			
	4月～3月(年10回)	交流館フォーラムまたは多目的ホール			
	<p>カフェで聞くような、気軽にリラックスしながら聴けるコンサート。 出演者についても広報等で公募し、音楽発表してもらう。 文化協会への委託事業。</p>				
展望	<p>現在、発表者の市民公募に対する応募がほとんどない。 大きな舞台での発表ではなく、身近で、発表しやすい機会は少ないので、市民の誰でも気軽に聴いて、見て、発表できるコンサートにするために、公募を行っていることについてさらなる周知が必要である。</p>				
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期					

平成29年度企画書(ランチタイムコンサート)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を身近に感じてもらい、興味関心を高める。 ・生の演奏を気軽に、定期的に発表・鑑賞ことができる機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。 				
対象	市民	日時 (予定)	約毎月第3木曜日 12時30分～13時00分		
内容	実施日		会場		
	4月～3月(年10回)		交流館フォーラム		
	<p>カフェで聞くような、気軽にリラックスしながら聴けるコンサート。 出演者についても広報等で公募し、音楽発表してもらう。 文化協会への委託事業。</p>				
展望	<p>お昼の時間に、気軽に、生の音楽を聴くことで、音楽をとおしてより文化芸術を身近に感じてもらうとともに、文化芸術への興味関心を高めてもらうことを目指す。 子どもから大人まで気兼ねなく、オープンなスペースで楽しめるコンサートになっているので、広い世代の交流の場にもなっている。</p>				
備考					
古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期					

平成29年度企画書(童謡まつり)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<p>・出演する市民を公募し、市内広域から参加者が集うことで、地域で受け継がれてきた童謡の魅力を幅広い世代に伝える。</p> <p>・子どもたちにも童謡を発表、鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。</p>				
対象	市民	日時 (予定)	平成30年2月下旬		
内容	実施日	スケジュール			
	平成30年2月下旬	仕込み(1日)			
		リハーサル(2日)			
		童謡まつり本番(中央公民館 大ホール)(1日)			
<p>市民公募で参加者を募り、数十団体及び幼稚園・保育園が出演し、ステージで童謡を発表する。コンクールには約20名程度出場し、小学生以下の児童が課題曲と自由曲を歌って競う。</p>					
展望	<p>童謡まつりでは、ステージでの発表だけでなく、優秀者には表彰が行われる。子どもたちにとっては、公の舞台で発表する貴重な機会であり、また、表彰されることで、自信が付き、今後の文化芸術活動への足がかりになる。</p> <p>子どもだけでなく、大人になればさらに童謡に触れる機会は少なくなる。</p> <p>本事業はすでに市民に浸透しており、実施体制・応募数・観客数ともに非常に安定しており、いい状態にある。</p> <p>県内でも童謡まつりを行っている自治体はあまり多くはないので、古賀の特色として、今後も続けていきたい。</p>				
備考					
<p>古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期</p>					

平成29年度企画書(こども美術展)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	1文化芸術振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもたちの作品に触れる機会を提供する。 ・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。 				
対象	市内在住の小中学生	日時 (予定)	平成30年2月下旬		
内容	実施日	スケジュール			
	平成30年2月下旬	作品搬入(1日)			
		作品展示(歴史資料館 サンプルアギャラリー)(6日間)			
		作品搬出(1日)			
	小中学校の児童・生徒の作品を募集し、審査を行い、特に優秀だった作品を展示・表彰する。				
展望	<p>すでに学校には浸透している事業となっているが、出展数が少ない学校もあるため、呼びかけを繰り返し行い、平等に児童・生徒が参加できるよう促す。</p> <p>また、より多くの人子どもたちの伸びやかな感性に触れ、普段とは違う視点から絵画を楽しんでもらえるよう、子どもを通してその家族、親族、友人などにも周知していく。</p> <p>文化協会への委託事業。</p>				
備考					
古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期					

平成29年度企画書(レッツトライ！プロジェクト)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。 ・古賀市において活動する団体の交流を行い、お互いに認め合い、高めあえるよう、団体間のネットワークを広げる。 ・団体の自立を支援する。 ・古賀市の文化芸術を盛り上げたい、古賀市を盛り上げたい、そんな思いを抱いている市民と古賀市で活動している個人、団体をつなげる。 ・産業観光振興を文化芸術の力で支援する。 ・事業実施の方法等を学ぶ機会を提供し、コーディネーターの育成につなげる。 				
対象	古賀市を拠点として活動する 文化芸術活動団体・個人	日時 (予定)	未定		
内容	平成28年度講座の際に上がった事業企画を、参加団体が実行に移すためのサポートや支援を行う講座を実施する。				
展望	<p>薬王寺をテーマに、文化芸術という方法で、魅力を掘り起こし、産業観光振興および活気溢れるまちづくりに寄与する。</p> <p>本事業は平成25年度から開始し、具体的な助成金の申請の方法の指導や、実際に助成金を獲得しての事業実施も行われてきた。</p> <p>事業実施までをとおして、団体育成をするとともに、ひいてはコーディネーターや文化芸術の火付け役の育成につなげる。</p>				
備考					
古賀市の新しい魅力を興す — ざわめきづくり — 行政がおこす — 短期 環境づくり — 行政がおこす — 長期					

平成29年度企画書(アート・バス)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	3文化芸術人材育成事業	小事業	
目的	小中学生を対象に、本物の文化芸術の鑑賞や学芸員等専門家、アーティストとの交流を通し、文化芸術の担い手の育成に寄与する。				
対象	古賀市内小中学校 児童・生徒	日時 (予定)	下記のとおり		
内容	実施日	対象	会場	内容	
	6月下旬(半日)	全中学校	福岡市美術館 福岡県立美術館	企画展および 常設展示を鑑賞	
	7月下旬(半日)	全小学校			
	9月下旬(半日)	コラボ			
	12月上旬(半日)	コラボ			
	2月下旬(未定)	大人アート・バス			
	古賀市内の小・中学生(参加希望者)を中心に、バスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。				
展望	<p>全中学校、全小学校と、学校の垣根を越えて募集し、実施することで、同世代の別の学校の児童・生徒との交流が持てるとともに、作品を鑑賞しながら互いに意見を言い合うことで、様々な面での気づきを得たり、芸術に関する感性を養っていく。</p> <p>違う視点で鑑賞する方法を学んでもらい、芸術をもっと楽しんでもらえるように工夫する。</p> <p>また、ボランティアとともにアイデアを出し、ともに学べるよう、しっかりと打合せ、反省を行っていく。</p>				
備考					
古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期					

平成29年度企画書(計画管理事務)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費	
大事業	12文化芸術振興事業費	中事業	4文化芸術振興計画 管理事務費	小事業		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。 ・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。 					
対象	審議委員	日時 (予定)	年間6回(1回2時間程度)			
内容	実施日	内容	スケジュール			
	5月(数時間)	第1回文化芸術審議会	委員委嘱・年間スケジュール			
	8月(数時間)	第2回文化芸術審議会	歴史資料館要覧について 前年度事業の報告について			
	10月(数時間)	第3回文化芸術審議会	来年度予算検討			
	12月(数時間)	第4回文化芸術審議会	文化芸術振興計画の見直しについて			
	2月(数時間)	第5回文化芸術審議会	来年度計画			
	* 突発的な協議のための予備日(1日)を含める。					
	古賀市文化芸術振興計画とアクションプランに基づいて、進捗管理を行っていただく。					
展望	<p>年度初めに年間の活動予定を報告、次年度予算の編成前に前年度事業の実施報告を行い次年度予算について検討していく。</p> <p>また、年度末には前回の審議会の意見を踏まえた予算の報告を行い、次年度に繋げていく。</p> <p>30年には、5年間の進捗状況の報告を行い、審議を受けることとなる。</p>					
備考						
環境づくり — 行政がおこす — 長期						

平成29年度企画書(自然史・歴史講座)

款	10教育費	項	6項社会教育費	目	5目文化財保護費
大事業	14歴史文化普及事業費	中事業	01自然史歴史教養向上事業	小事業	
目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会を提供する。				
対象	市民	日時 (予定)	下記のとおり		
内容	実施日・内容等(予定)				
内容	<p>第1回 6月上旬 【現地学習】『船原古墳 ～九州歴史資料館保存科学調査展～』 〔小郡市〕九州歴史資料館</p> <p>第2回 7月上旬 【講演】『薦野氏・米多比氏』 〔古賀市〕リーパスプラザこが歴史資料館中会議室</p> <p>第3回 8月上旬 【体験学習】『夏休み子ども歴史講座』 〔古賀市〕リーパスプラザこが歴史資料館中会議室</p> <p>第4回 11月下旬 【現地学習】『街道をめぐる ～青柳宿から秋月城址まで～』 〔朝倉市〕秋月城址・秋月郷土館ほか</p> <p>第5回 3月中旬 【現地学習】『古墳めぐり ～船原古墳と古賀市周辺の関連遺跡～』 〔古賀市・福津市・宗像市等〕船原古墳ほか</p> <p>『子ども(親子)考古学部(仮称)』全5回(予定) 火起こし体験・古代衣装作り・勾玉作り・どんぐりクッキー作り・古墳めぐりなど</p>				
	備考				
	環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす				

平成29年度企画書(市民音楽祭)

款	10教育費	項	6社会教育費	目	8文化芸術費
大事業	14音楽振興事業費	中事業	1音楽振興事業	小事業	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市の文化芸術振興に寄与し、公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。 ・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。 				
対象	市民	日時 (予定)	11月頃		
内容	実施日	内容	会場		
	11月頃 (1日)	市民音楽祭 本番	中央公民館 大ホール		
	<p>古賀市文化協会の自主事業。 プロの歌手を招いての有料コンサートであるが、より多くの市民に本物の芸術に触れてほしいという思いから、古賀市民は通常料金から1,000円の割引がある。 メインゲストはプロの音楽家、その他ゲストは市民活動団体が出演する予定。</p>				
展望	<p>【団体】 集客目標:700人。バラエティーに富み、市民ニーズに合った出演者を招く。 【行政】 市民音楽祭はすでに市民に根付いている事業であり、プロの音楽家と市民が共働で出演する貴重な機会である。 入場料を徴収することで、よりグレードの高い事業展開ができ、なおかつ文化協会だからこそ持ちえる文化芸術活動団体との根強いネットワークを通して広域的な周知を行っている。 古賀市民は無料の文化芸術に触れる機会の提供に慣れすぎているとの意見もある中、グレードの高い企画及び連携の取れた運営で、市民の文化芸術に対する興味・関心を刺激し、今以上の文化芸術に対する意識の高い市民の開拓・掘り起こしに寄与することを期待する。</p>				
備考					
誇りをおこす — 行政がおこす 誇りをおこす — 団体がおこす					

平成29年度企画書(絵画で古賀市を元気にするプロジェクト)

款	2総務費	項	1総務管理費	目	9地域支援費												
大事業	13市民活動支援事業費	中事業	4公募型補助金事業	小事業													
目的	<p>・古賀市在住の児童の絵画表現活動の奨励支援を、下記の内容を中心に市民参加で推進するとともに、このことを学校、家庭、地域住民間の交流の促進、絆の強化を図り、協働の明るい「元気なまづくり」に貢献する。</p> <p>1.古賀市内における市内在住児童の絵画の展示 2.作品の審査および表彰式の開催 3.児童・保護者を対象とする絵画教室の開催</p>																
対象	出展者 市内在住の小学生 来場者 一般市民		日時 (予定)	下記のとおり													
内容	実施日	スケジュール															
	4月	会議															
	6月下旬	児童作品募集案内															
	7～8月	絵画表現活動支援(絵画教室等)															
	9月初旬	児童作品回収															
	9月末	作品審査															
	12月中旬(数日)	作品展示 歴史資料館 サンフレアギャラリー															
	12月中旬(1日)	表彰式 中央公民館 大ホール															
	10月中旬～3月中旬	コスモス館 びはらホーム															
	12月中旬～1月中旬	西鉄バス宗像															
	11月初旬～12月初旬	千鳥苑															
	3月下旬	児童作品返却															
	<p>上記他、一年間通じて必要に応じて市内各所に展示を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古賀市ない全小学校を対象に協力を経て、児童会が活動および作品の出展 ・入選作品の展示 ・入賞者の表彰および表彰式の開催 ・外部協力団体、企業による協賛展示 ・児童作品返却 																
展望	<p>【団体】 平成27年度からの3年間で作品出展児童1,500人を目指す。 また、絵画表現活動支援の活性化を目指す。 さらに、賛同する企業・団体による作品展示においては、本年度は2～3箇所、3年間で6箇所を目指す。</p> <p>【行政】 他団体との共同で行っている事業で、広域的な協力体制が出来ており、安定した運営が行われている。 補助金終了後も十分自立した事業実施が可能であり、今後はPRや周知の面で支援していきたい。</p>																
備考																	
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">環境づくり</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%;">— 行政がおこす — 短期</td> </tr> <tr> <td>古賀市の個性を起こす</td> <td>— 今ある宝を再認識する</td> <td>— 眠った宝を起こす</td> <td>— 団体がおこす</td> </tr> <tr> <td>古賀市の新しい魅力を興す</td> <td>— ざわめきづくり</td> <td>— 団体がおこす</td> <td>— 団体がおこす</td> </tr> </table>						環境づくり			— 行政がおこす — 短期	古賀市の個性を起こす	— 今ある宝を再認識する	— 眠った宝を起こす	— 団体がおこす	古賀市の新しい魅力を興す	— ざわめきづくり	— 団体がおこす	— 団体がおこす
環境づくり			— 行政がおこす — 短期														
古賀市の個性を起こす	— 今ある宝を再認識する	— 眠った宝を起こす	— 団体がおこす														
古賀市の新しい魅力を興す	— ざわめきづくり	— 団体がおこす	— 団体がおこす														